



Pack
17

Ferrari

250 GTO



Ferrari 250 GTO

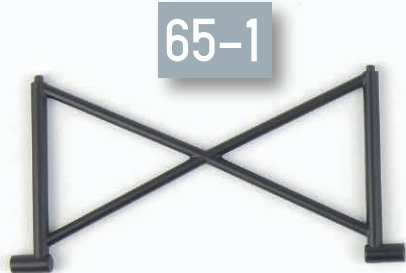
組み立てガイド

- | | | |
|-----------------|--------------------|-------|
| STAGE 65 | ラジエーター追加部品 | P.257 |
| STAGE 66 | アンチロールバーと2本のペダルロッド | P.261 |
| STAGE 67 | カーホーンシステム | P.265 |
| STAGE 68 | ボディの後部 | P.269 |



ラジエーター追加部品

前回に引き続きラジエーターを組み立てていく。



65-1



65-2

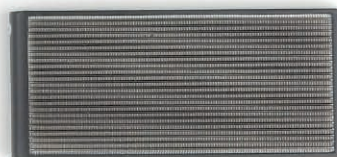
ネジB×5



65-4



65-5



65-3

65-6



65-7

パーツリスト

65-1 ラジエーターフレーム

65-2 ラジエーター中央パネル

65-3 ラジエーターフロントパネル

65-4 スリーブ

65-5 フレキシブルホース

65-6 カーブドホース

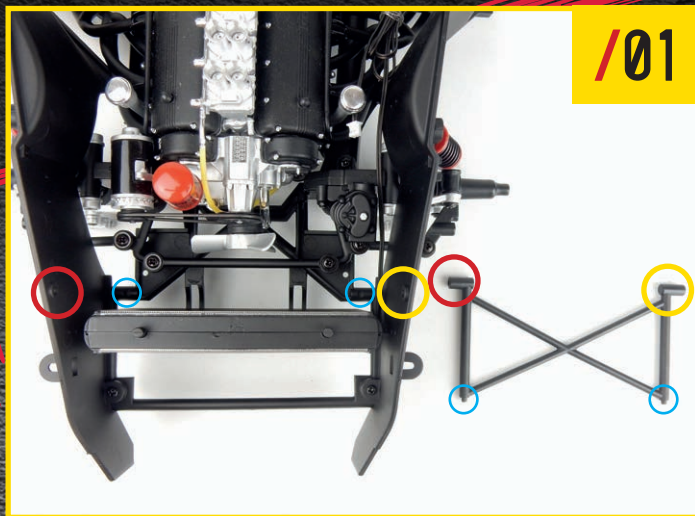
65-7 ロッド

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×5本 (1本は予備)

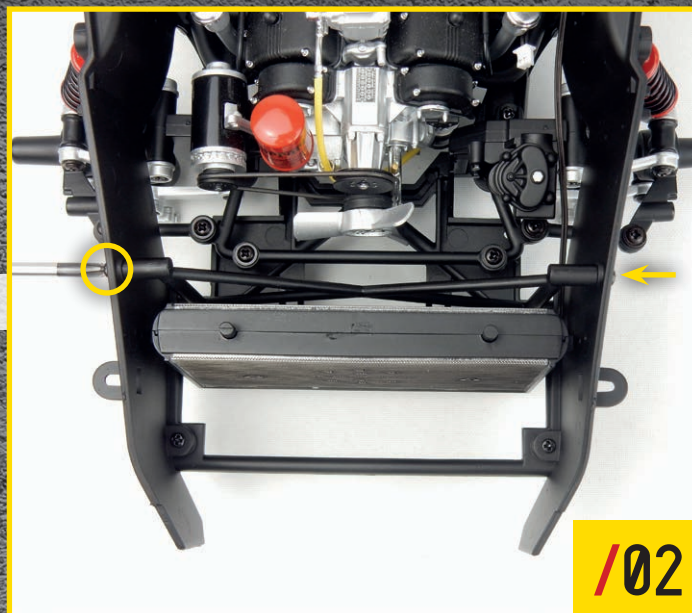
ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 65

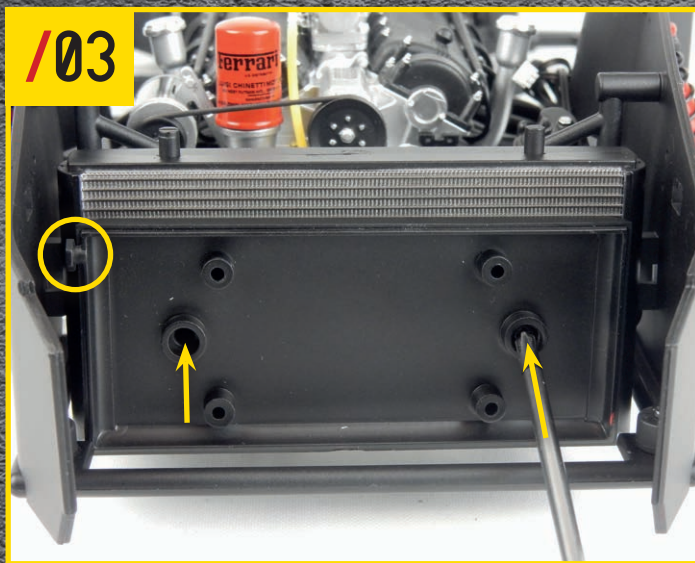


65-1(ラジエーターフレーム)下部の突起凸(青丸)をフレームの丸溝凹に差し込み、側面にあるスタッドをスプラッシュガードの内側にある穴にあわせて取り付け。写真と同じ向きになるように注意。

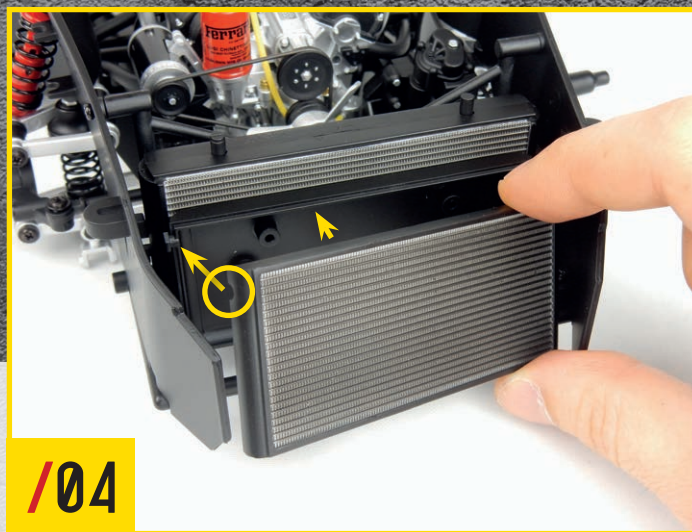
2本のネジBで固定する。



65-2(ラジエーター中央パネル)をラジエーター部分に取り付ける。写真のように向きを合わせ、2本のネジBで固定する。



写真のように65-3(ラジエーターフロントパネル)をラジエーターに合わせ、少し押し込むようにして、しっかりとはめこむ。





/05



65-5(フレキシブルホース)を65-4(スリーブ)の短い方のスタッドに差し込む。



/06

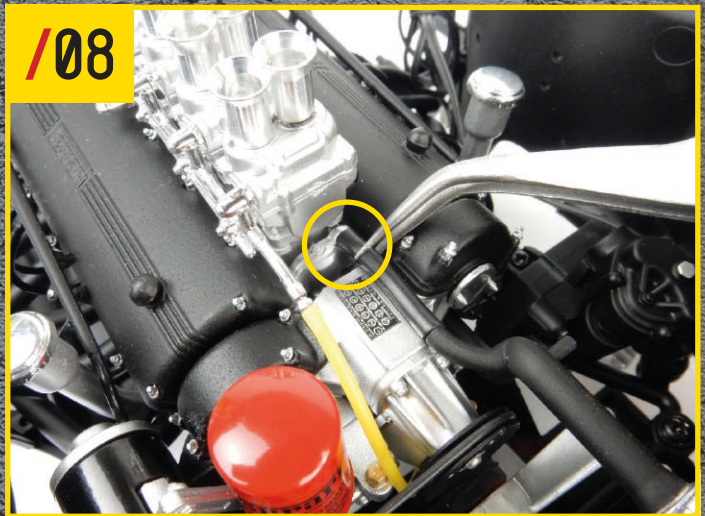
STAGE 04 で保管しておいた64-3(ラジエーターカバー)に、スリーブをはめ込む。



/07

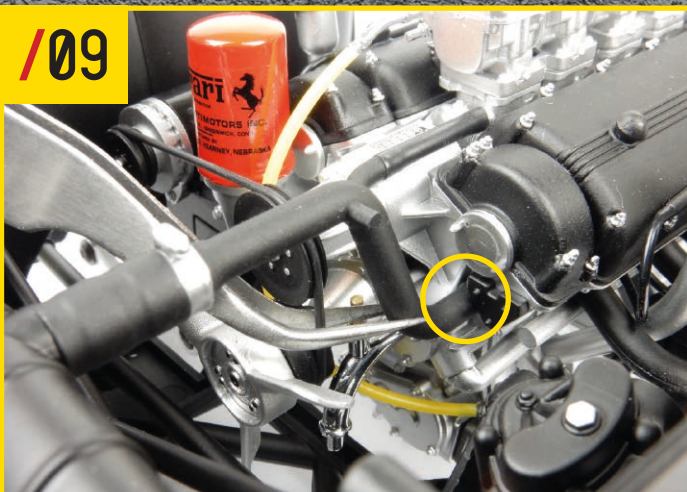
カバーをラジエーター部分にはめ込む。写真のように向きを合わせる。

/08

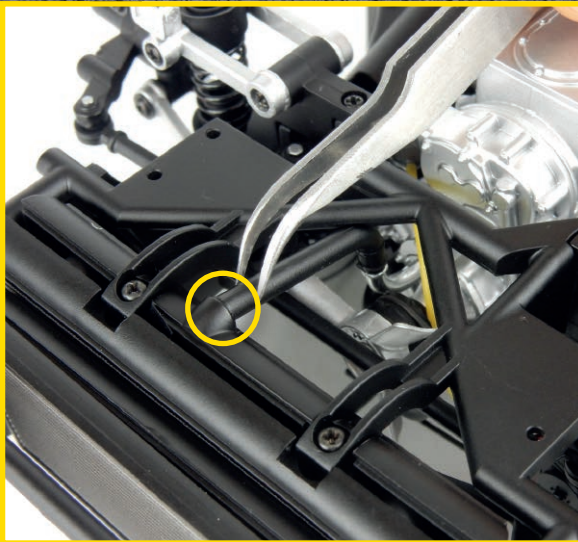
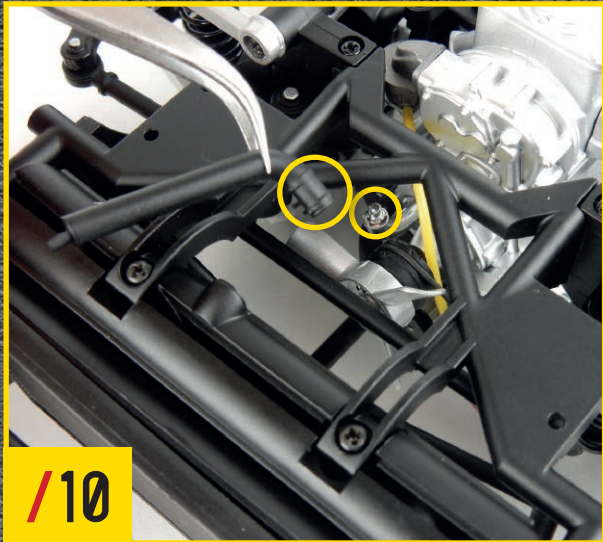


フレキシブルホースのもう一方の端をエンジンブロックのスタッドにはめる。

/09

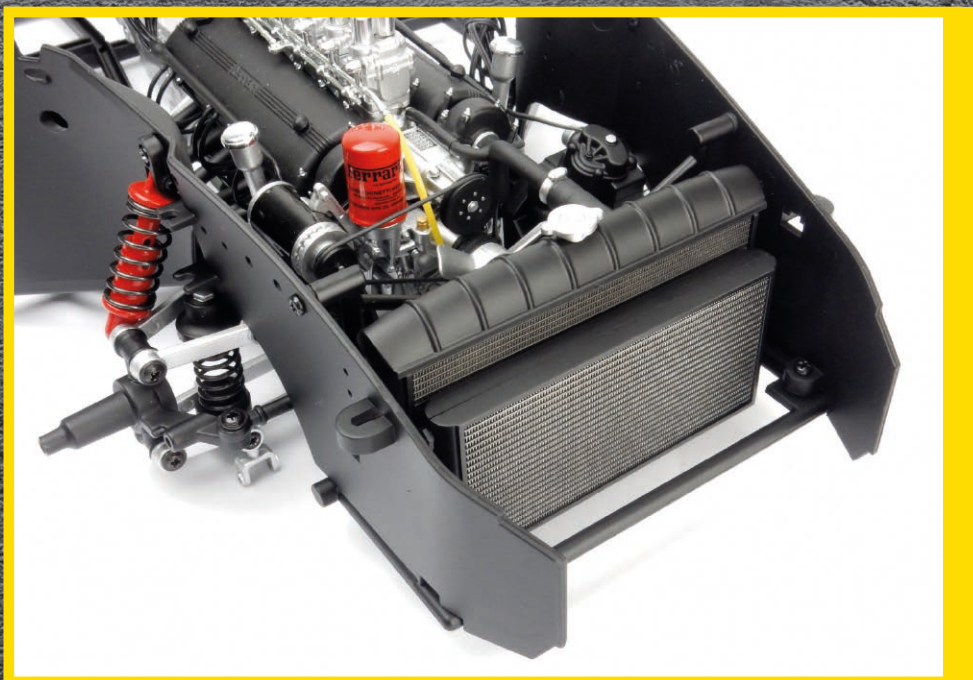


タイミングカバーの左側の穴に、スリーブのもう一方の端のスタッドを挿入する。



シャーシを裏返す。65-6(カーブドホース)でウォーターポンプをラジエーターのバックパネルに接続する。

/10

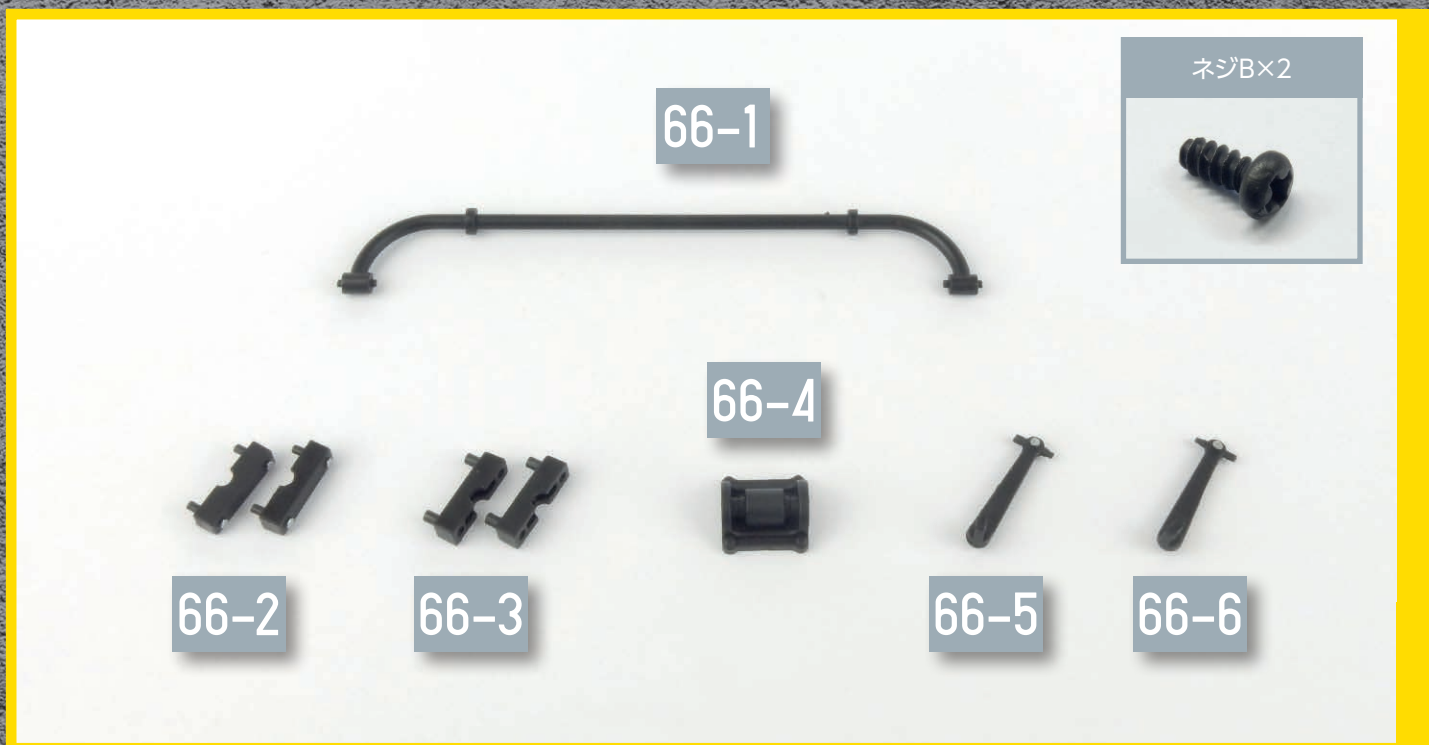


STAGE 65 の完成

ラジエーターがここまで仕上がった。65-7(ロッド)は **STAGE 68** で必要になるので大切に保管しておこう。

アンチロールバーと 2本のペダルロッド

シャーシにアンチロールバーとクラッチ・ブレーキペダルのロッドを取り付けていく。



パーツリスト

- 66-1 アンチロールバー
- 66-2 ブラケットの上半分
- 66-3 ブラケットの下半分
- 66-4 ロッドベース

- 66-5 クラッチロッド (L)
- 66-6 ブレーキロッド (R)

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×2本 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締められなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 57 で組み立てたサスペンションと58-1(コネクティングマウント)を用意する。写真と同じ向きにして、2本のネジBで固定する。

STAGE 66

/01



66-1(アンチロールバー)と、66-2(ブラケットの上半分)、66-3(ブラケットの下半分)を用意する。

66-1(アンチロールバー)の突起した部分を66-3(ブラケットの下半分)にはめ込み、さらに66-2(ブラケットの上半分)を合わせる。

/03



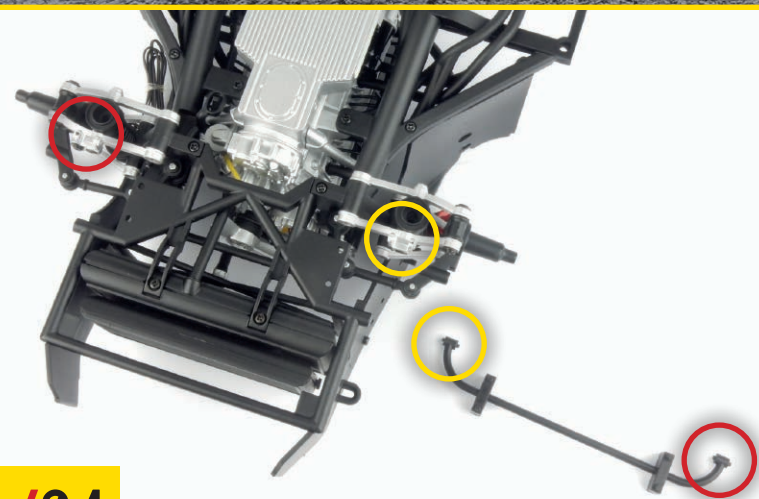
もう1組のブラケットを同様に、アンチロールバーの残りの突起部分にはめ込む。

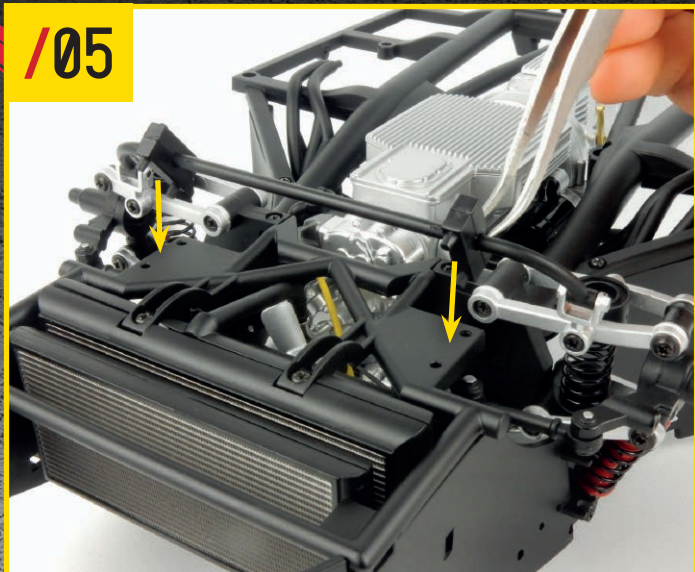
シャーシを用意し裏返す。写真で向きをよく確かめて、バーの両端をサスペンションのフォークブラケットに取り付ける。少し強めに押し込むようにする。

/02



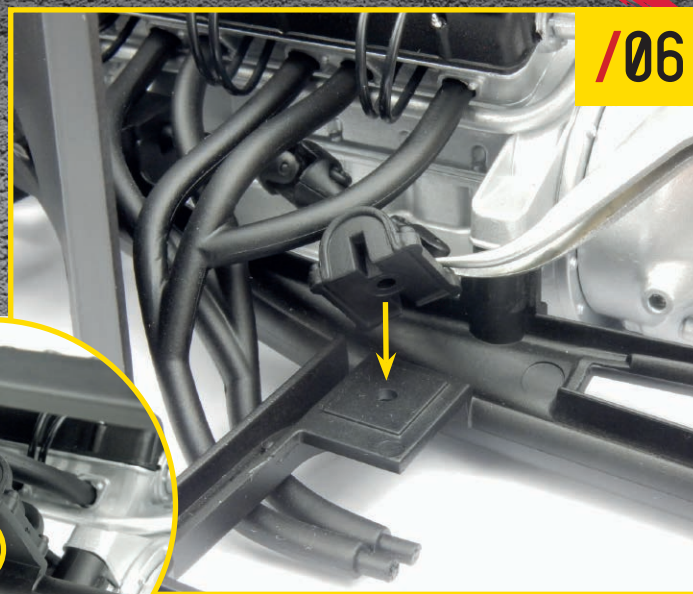
/04





ブラケットのスタッドをそれぞれ、写真のようにシャーシに差し込む。

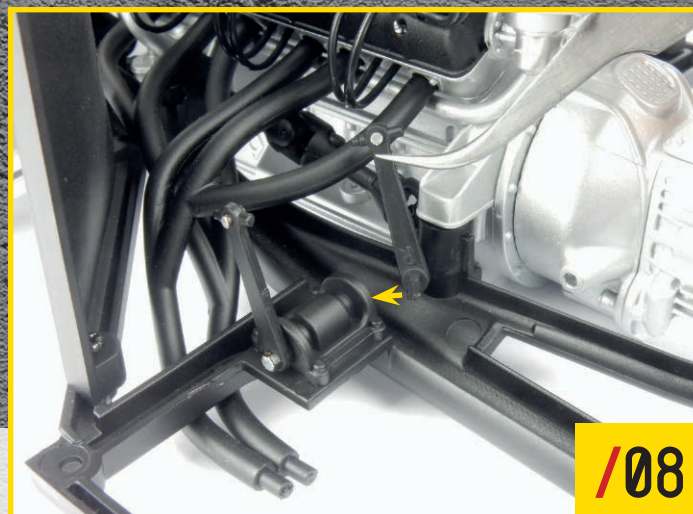
66-4(ロッドベース)を写真のようにシャーシに置き、ネジBで固定する。

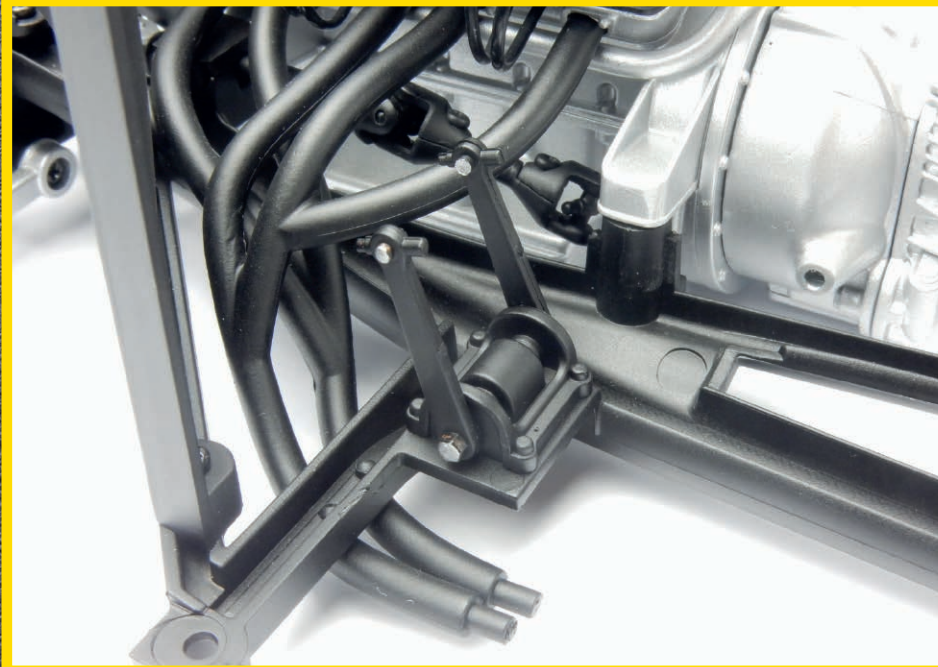
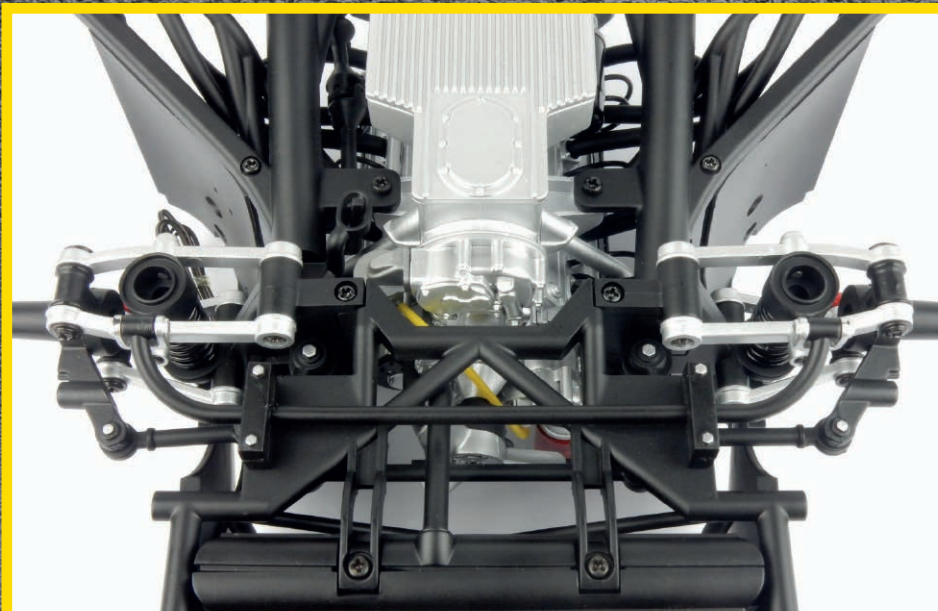


66-5(クラッチペダルロッドL) (“L”と印字されている)をロッドベースにはめ込む。



66-6(ブレーキペダルロッドR) (“R”と印字されている)をロッドベースにはめ込む。





STAGE 06 の完成

アンチロールバーとクラッチペダル、ブレーキペダルのロッドをシャーシに装着した。

カーホーンシステム

ホーンシステムやウインドウォッシャー液リザーバーなど、エンジンルームに取りかかる。
2回で完成させる。

67-1



67-2



67-3



67-4



ネジB×2



67-5



67-6



67-7



67-8



67-9



67-10



パーツリスト

67-1 ホーン

67-2 ホーンキャップ

67-3 コンプレッサーブラケット

67-4 コンプレッサー本体

67-5 コンプレッサーカバー

67-6 ロングチューブ

67-7 ショートチューブ

67-8 Yコネクター

67-9 ウインドスクリーンウォッシャー液リザーバー

67-10 リザーバープラグ

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×2本 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



67-1 (ホーン)を67-2 (ホーンキャップ)に挿入する。
2セット作る。



/02



写真のように、67-6 (ロングチューブ)と67-7 (ショートチューブ)を67-8 (Yコネクター)に差し込む。

/03



2つのホーンキャップのスタッドにロングチューブの一端を差し込む。



/04



シャーシを用意し、2つのホーンをフロント右スプラッシュガードの内壁面に取り付ける。

67-3(コンプレッサーブラケット)を67-4(コンプレッサー本体)に取り付ける。写真で向きを確認する。

/05



ネジBで固定する。

/06



67-5(コンプレッサーカバー)をブラケットに取り付ける。

/07





/08



コンプレッサーをフロント右スプラッシュガードの内側、ホーン付近に取り付ける。
ショートチューブの端をコンプレッサーカバーのスタッドに差し込む。



STAGE 67 の完成

シャーシに正しく取り付けられたカーホーンシステム。今回使用しなかったパーツは大切に保管しておこう。

ボディの後部

今回は、これまでに保管しておいたパーツを使って組み立てる。

68-1



パーツリスト

68-1 ボディ後部

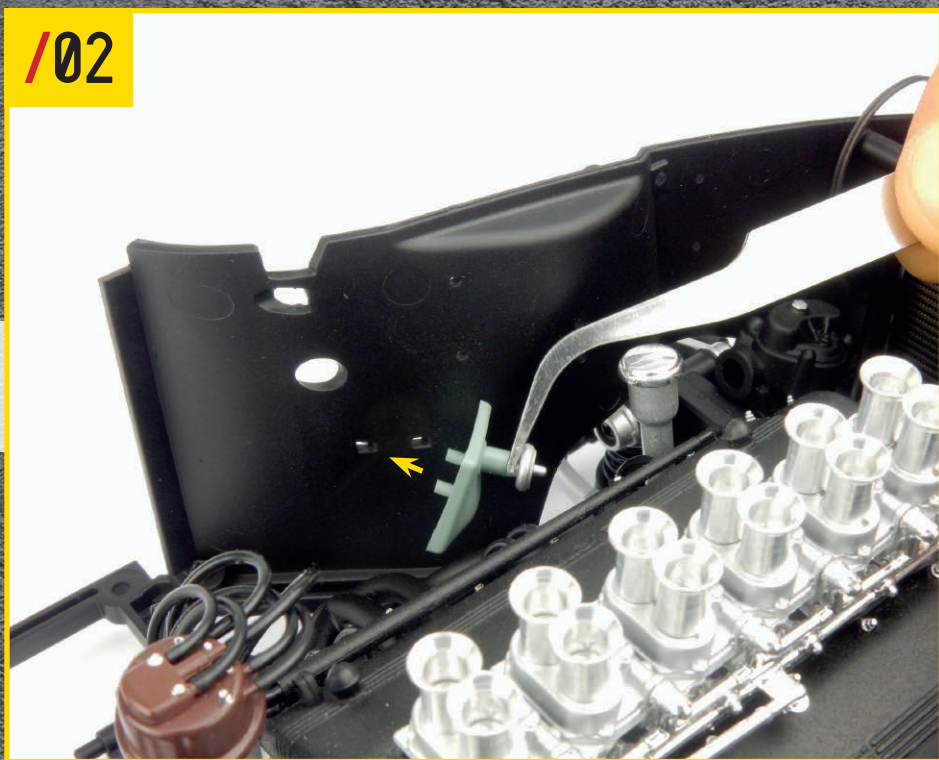
ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



STAGE 67 で保管しておいた67-9(ウインドスクリーンウォッシャー液リザーバー)と67-10(リザーバープラグ)を用意する。写真のように差し込む。

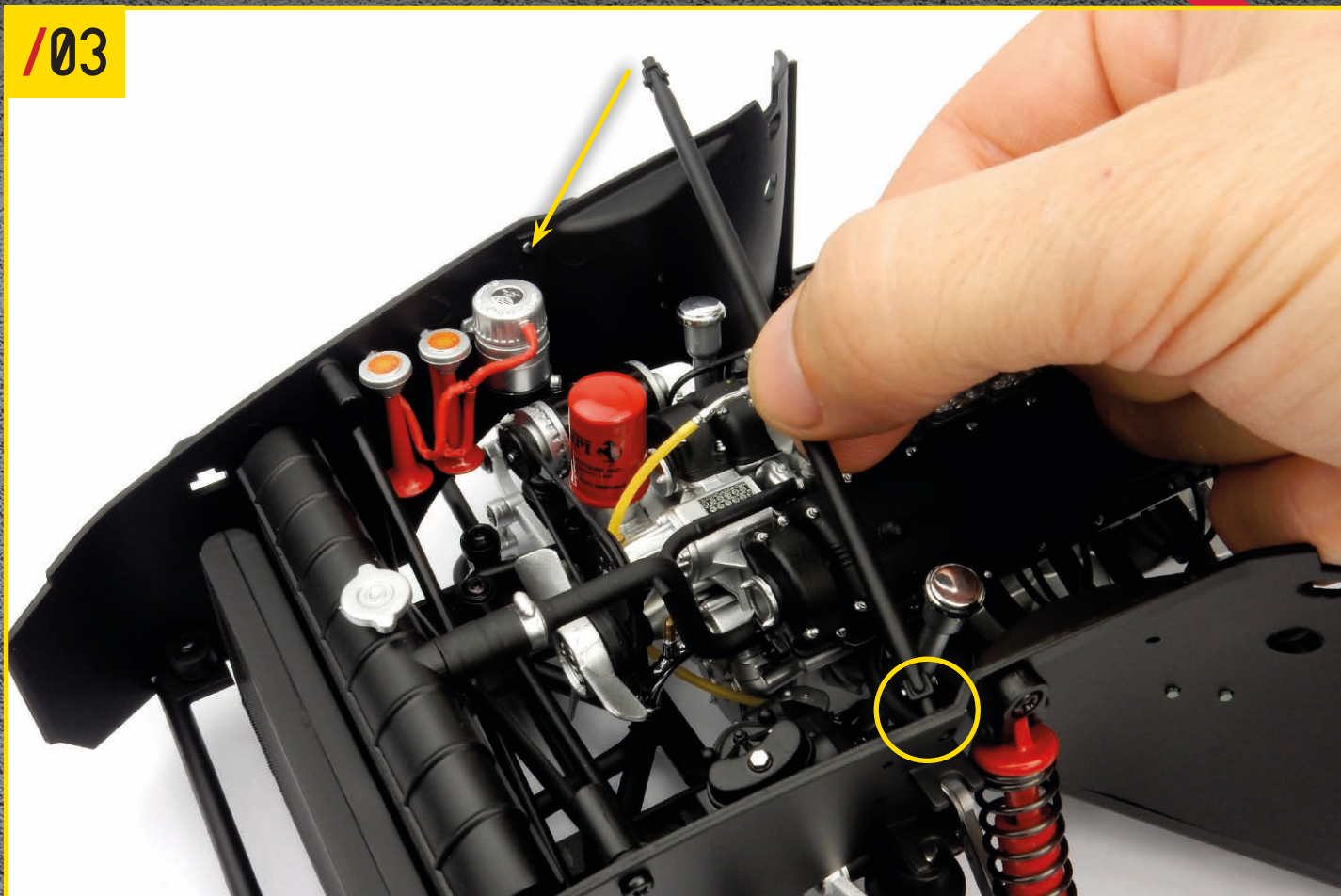
/02



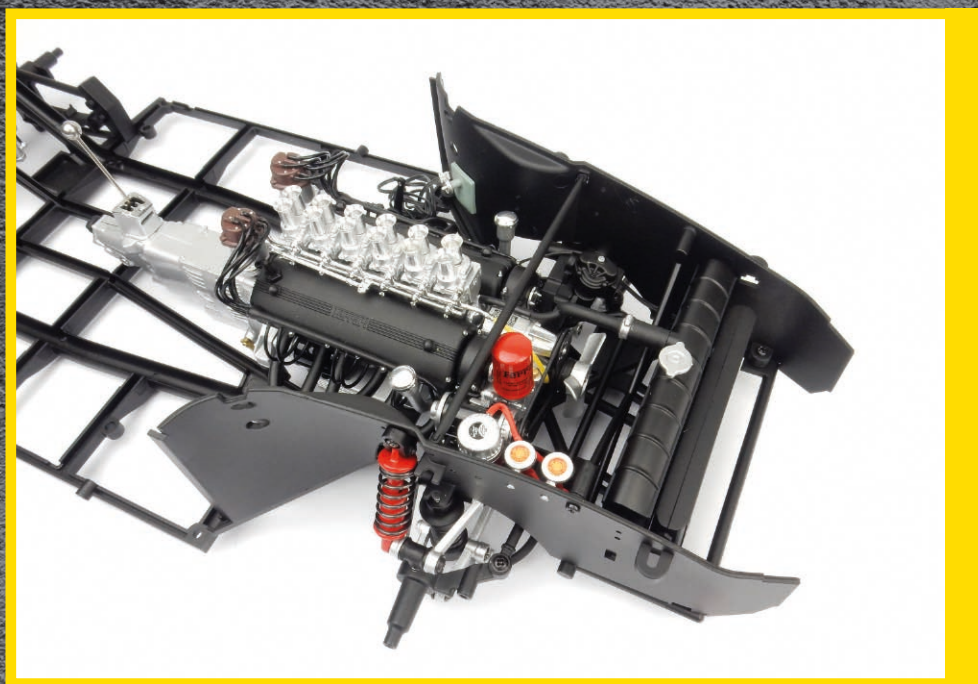
シャーシを用意する。リザーバーをフロント左スプラッシュガードの内側に、写真のようにはめ込む。



/03



STAGE 03 で保管しておいた65-7(ロッド)両端を、写真のように2つのフロントスプラッシュガードに差し込む。



STAGE 68 の完成

シャーシのフロントセクションがここまで仕上がった。